

令和 7 年

## 第 1 回総合教育会議 会議録

1 日 時 令和 7 年 7 月 31 日 (木) 午前 9 時 00 分～午前 9 時 45 分

2 場 所 尾花沢市役所 庁議室

3 出席委員 市 長 結 城 裕  
教育長 村 松 真  
教育長職務代理人 井 上 清 彦  
委 員 鈴 木 瑞 穂  
委 員 矢 作 廣 昌  
委 員 尾 崎 由 美 子

4 出席者 総務課長 永 沢 八重子  
総合政策課長 永 沢 晃  
こども教育課長 岸 齊 树  
教育指導室長 藤 公 良 成  
社会教育課長 塩 原 和 広  
統合小学校建設課長 小 塚 和 二  
統合小学校建設課長補佐 土 屋 順 二  
こども教育課課長補佐 石 山 忠 洋 (事務局)

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 協議事項
  - ・尾花沢市立尾花沢小学校の開校予定時期について
- 4 その他
- 5 閉 会

### 議事録

進 行 ただいまより、「令和 7 年度第 1 回尾花沢市総合教育会議」を開催いたします。はじめに市長よりごあいさつをお願いします。

市 長 みなさんおはようございます。今日は暑い中、ご多忙中に総合教育会議に出席いただき、ありがとうございます。今日の協議事項については、尾花沢市立尾花沢小学校の開校予定時期について、ご協議いただきたいという事でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

進行 ありがとうございました。それでは、次第の3番、「協議事項」を進めさせていただきます。

座長は、尾花沢市総合教育会議運営要綱第3条第1項の規定により、結城市長にお願いします。

市長 暫時の間、座長を務めさせていただきますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。それでは、3協議事項について、「尾花沢市立尾花沢小学校の開校予定時期について」の協議をしたいと思います。事務局、説明よろしくお願いします。

統合小学校建設課長 (統合小学校建設課長の説明)

市長 ただいまの「尾花沢市立尾花沢小学校の開校予定時期について」に関する説明について、委員の皆様からご意見・ご質問があればお願ひいたします。

鈴木委員 ご説明ありがとうございます。7月28日に開かれました住民説明会の方にも参加させていただきました。教育委員として7・8年目になり、当初の方から関わらせていただきましたが、その時々で最善の方向性という事で進めてはいるものの、住民説明会で出された意見についても1つ1つ納得のいくもので、検討しなければならない事が数多くある事と理解しております。その中で皆さんが検討した方が良いのではないかと意見が出されているのが、規模で、分かりやすいところで教室の数になると思います。一年遅れたとしても、今の子供たちの環境を保障するには3クラスの設計のまま（の方が良い。）、それを2クラス、将来的に昨年度生まれた子供たちを基準にして1クラスにとを考えると、今まで積み重ねてきたもののやり直しを含めると、かなりの年数を要する事となる。その中で、今5校の小学校にいる小学生の現状はどうかという事も考慮し考えたいな思っております。先日、教育委員会の学校訪問で各小中学校を訪問させていただきました。今回の小学校の建設・統合の発端の一つとなっている尾花沢小学校の老朽化がございます。令和11年で約築60年となると記憶しております。そのような施設の中で、子供たちは元気にのびのび過ごしており、先生たちも綺麗な環境を保っていただいており、見た目はとても明るい学校なのですが、この猛暑の中で、エアコンは数年前に設置されておりますが、三階の教室はカーテンを引き、エアコンを全開でかけた場合でも

30度を超える事がある過酷な状況で学びを行っているなと感じております。そもそも空調の設備を増設しようにも電源設備の容量が足りず、根本からの大規模改修が必要となつております。中学校にも同じことが言えるのですが、設備の老朽化が問題となつております。新しい学校を早くという現場の先生や子ども達の声は理解できます。

あともう一つ、宮沢小学校と常盤小学校ですが、今年度全学年が複式学級となつております。その中には1学年1人となつてゐるところもあり、その子供たちの状況は、ちょっと前に、自分たちが想像していた小規模学校の良さを感じ取れる小規模学校よりも、もっと児童数が少なく、それに合わせて教員の配置も少なく、それにも関わらず他と同様に学校を運営しなければならず先生の負担も大きい。また、複式学級の中で、お互いの学年の学びを見ることが出来る良さもあるが、複式であるため自分の学年の授業に携わってくれる先生の時間は半分になつてしまふ。そういうデメリットもある中で、今の宮沢小、常盤小の複式学級の状態もどれくらい保つていくことが出来るかという、現実的な問題もあると思います。例えば各学年の教室が一つしかいらなくなる時期に統合の時期を設定しなおした場合、今現在小学校に通う子供たちの学びを保障できるかという問題が実際に有ります。どこを基準に考えていくかというのは難しい問題であると思います。今各学年3クラスという事で設定されておりますが、そのように建設された場合は、必ず将来空き教室が出てくると思われます。ただし、今回の設計を見ると授業で使用する教材をしまっておく場所、教材倉庫が十分に設けられておらず、一時的に元の5つの小学校へ保存し空き教室ができた段階でその場所を倉庫として活用する想定していると思っております。また、子供たちの数が減少している事と反比例して支援の必要な子ども達の数は確実に増加しております。一人一人子供たちに必要な対応が別で、学校で設けているリソースルームの中に更に仕切りをつけて対応している。色々なニーズが多くなつてゐる。支援が必要な子や不登校の子、学校には来れるが教室には入れない子など、今までであれば保健室登校でしたが、今はきちんと教室を設け、今までになつてない学びを確保してあげる教育現場になつてきているのかなと感じております。空き教室が出来てきたとしても、そのように子どもたちのために色々な形で利用していく方法もあるのかなと思います。実際の所、どれがベストかは正解の無いところですが、私の感じたところであります。

矢作委　　学校訪問をさせて頂いたとき、教材が廊下にも置いてあ

員

るような状態で、新しい学校で空き教室が出たとしても、子供たちのために様々な活用ができる。住民の説明会でいただいた意見も大事ですが、前提として統合・小学校建設は待ったなしの状況がある。設計を変更するという事は、また、10年も開校が伸びるという事になり無理な事ではないのかと思います。

尾崎委員

習字教室で子供たちが「統合しなくてもいいと思うんだよね」という事を言っていた。でも、それは郷土愛・地元愛が強いことからだと思っています。現実的に児童が少ないなりの良いところがあり、この前、学校訪問の時に複式学級を見させていただきました。そこで、先生が半分ずつ授業を見るという事で不安に感じていたが、逆に先生がいない時の時間の使い方を児童自ら考えていた。自分たちで授業を進めて行こうという姿が見られた。児童も素晴らしいが、児童をそのように導いている先生たちの努力だと思います。各学年、各学級に合った勉強の仕方を学んで、学ばせているのだなと感じました。今回、子供の数が少なくなれば教室が余ってくるとのご意見があったとの事ですが、学校は学校だけの使い方だけでなく、地域の避難所やコミュニティの場であったり、最適な施設となっている。色々な御意見多数あると思うんですけど、私はやっぱり進めてしかるべきかなという風に思います。

井上委員

7月の説明会に参加して、多くの意見は大きく分けて4つの意見があったと感じました。

1つ目は、統合そのものに関する問題で、過去に解決された問題ですが、根強く地域を愛する人たちが多いので、いつでも出てくる問題であるなと思っています。この話題については、何度も保護者を中心に説明会が行われ、保護者の意見は統合やむなし、教育環境を考えると、小規模学級の良さがあると言っても1～2人の学級では集団で学び合うのとは違うものだという意見が多く、そのような考えから統合もやむなしとなった事を思い出しております。

2つ目は、入札が不調となった理由に対する疑問でした。学校建設をする尾花沢市が豪雪地帯であることは分かっているだろうという事から始まり、不調となった事は仕方がないが、次に不調にならないよう、議会にも納得してもらえるよう、資料・説明が必要だと思いました。

3つ目は、コンパクトにという意見が出されました。ただ、これは突き詰めますと予算の問題という事になります。今回、設計して、造成して、この段階で、また設計しなおすためにプロポーザルを行い、試算が必要ですが本当に安くなるのかという問題が有ります。ですので、コンパ

クトにすれば将来負担が減るという事には疑問を感じるところでした。それと合わせて、補助金（交付税算入の有る起債含む）等を活用して将来の市民の負担を最小限にしようとしている点などが理解されていない。感覚的に小さくすれば負担が減るという事から出たご意見と思われますので、丁寧に説明していく必要があると思います。

4つ目は、空き教室に関する事については、鈴木委員と同様に多様な子ども達に対応するための教室が必要だと思っております。

また、私は教師の時に学校統合を経験しており、4つの小学校が1つに、必要な物については中心校にまとめ、いざ統合してみるとやはり統合から3年ぐらいは各地域で行ってきた行事に対する思いが保護者、地域の人たち、とても強く、この行事はうちの元小学校の土俵を使ってくれないか、老人クラブとの交流だったら、うちの元小学校のグランドを作ってくれないかという要望が、3、4年ありました。そのような所に対する物品の管理がとても大変で、その度に、旧校舎まで行ったような覚えもありますし、その後、旧校舎にあるものを委員会主導で廃棄したが、「あれ」という風に思ったこともあります。先ほど、（現設計に）教材室が十分に無いのですが、教材室があることがどれぐらい大切か。1学年が1~3学級でも、同じ教材を使うので、広さは同じもの、同じ大きさのものが需要です。そういう風なことから考えると、空き教室は教材室として活用し、先生方の有効的な活用の仕方でかえって教育効果が上がっていくんじゃないかなという風に思いながら聞いていました。以上です。

座長（市長） はい、ありがとうございました。様々なご意見いただきましたが、何か他に、ご意見ございませんでしょうか。

無ければ、このぐらいにさせていただいて、質疑応答の部分につきましては終了という風にさせていただきたいと思います。

様々なご意見をいただきましたが、先般開催されました保護者の方々への説明会とか、住民の方々への説明会、様々なご意見を頂戴いたしまして、その意見を反映させる事が出来るのかどうか、色々検討しながら進めてまいります。開校時期としては、当面の現在のスケジュールからすると、やはり10年の4月と、ということで、当初予定していた9年4月から1年遅れる。まあこれが今やっている事業の最善、一番早い時期になるんではないかということに対する、この会議の決定事項として、進めていきたいということに対しては、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

市長 それでは、そのような事でご異議なしということにさせていただきたいと思います。

それでは、本日頂きました様々のご意見、保護者の方々から頂いた意見、そして住民の方々から頂いた意見、そういうことも色々勘案しながら、開校時期を今後最終的に定めさせて頂きたいという事であります、この会としては10年4月で進めていきたいという事であります。

今後可能な範囲で、今できることを最大限やらしていただきて、そして議会の議決を得られるような、我々の説明をしっかりと進めていきたいという事で、まだ調整事項もございますので、進めていきたいという事であります。

そして、今後、皆様方に、もう一度その調整をした結果として、大変恐縮ではございますが、もう一度開催させて頂いて、この会の最終的な決定事項とさせて頂きたいという風に思っております。どうぞその際にはまたお忙しいこととは思いますが、ご参加をお願い申し上げたいという風に思います。

事務局 続きまして、4、その他でありますが、何かございませんでしょうか。

鈴木委員 もう一度総合教育会議を開いて、決定という事でお話ありましたので、せっかく期間がありますので、市民の方、保護者の方からいただいた意見をもう一度丁寧に見直していただきて、反映できるところをすべて汲み取っていただければなと思います。よろしくお願ひいたします。

市長 はい。他にございませんでしょうか。

よろしければ、以上をもちまして、第1回尾花沢市総合教育会議を閉じさせていただきたいと思います。何度もご足労いただきまして、本当にありがとうございます。まだこれからもよろしくお願ひを申し上げます。

事務局 大変あの、貴重な委員の皆様のご意見、それから、慎重なご協議、誠にありがとうございました。それでは以上をもちまして第1回尾花沢市総合教育会議を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。